

コースのあらまし 森閑とした橿原神宮の境内を抜けてまず畝傍山へ登る。樹々の間から金剛葛城連山を垣間見ることが出来る。近鉄橿原線を横切って本葉師寺跡・紀寺跡・香久山へと進む。落ち着いた農村風景とのどかな田園風景が溶けあう。本格的都市の第一号、藤原宮跡に立寄ったのち、最後のポイント耳成山へ。見る場所によって姿が変わる三山を眺めながら歩くコース。大和三山は低い山だがいずれもすべりやすい箇所があり、足元には注意を。

畝傍山 標高199m、大和三山の中で最も高い。「万葉集」には香久山と耳成山がこの畝傍山をめぐって争う有名な歌があるが、畝傍山を男性の比喩とみるか、女性とみるか説が分かれる。山麓には橿原神宮や畝火山口神社がたがずみ、神話の世界にひたれる山である。

●地図内の数字は、起点からの実測距離(メートル)を表わしています。



- 大阪阿部野橋駅から橿原神宮前駅まで約40分
- 京都駅から橿原神宮前駅まで特急約50分
- 近鉄名古屋駅から橿原神宮前駅まで約2時間5分(大和八木駅まで特急利用、大和八木駅のりかえ)
- コース内の神社仏閣、施設等には、有料の箇所があります。

香久山 標高152m、『万葉集』では天香山とうたわれる。二山の中で最も形がわかりにくい、古代には国見の地であったといわれる。頂上からの展望はきかないが西側の中腹からは金剛～生駒の山々、大和国原が一望。近くに天香山神社・天岩戸神社・万葉の森・橿原市昆虫館などがある。

藤原宮跡 持統・文武・元明の3代、16年にわたって宮殿があった。ここを中心とする藤原京は次代の平城京と同じく、唐の長安を模したもの。草原状の跡

耳成山 標高139m、三山のうち最も低い。まわりには丘や山がなく、三輪山のようなたおやかな山容はひときわ目立つ。古代人は神の山として崇めたことであろう。中腹に天神社、南麓に桜の美しい小公園がある。

このコース地区は2011年12月1日調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。当コースのお問い合わせ先 近鉄 大阪イベント課 ☎(06)8775-3566

●約14キロ〔橿原神宮前駅～畝傍山～香久山～藤原宮跡～耳成山～大和八木駅〕(又は耳成駅)

大和三山回遊コース

きれいな思い出 きれいな自然
ゴミやキスは、持ちがえりましょう

企画・発行=近畿日本鉄道(株)
制作・印刷=(株)アド近鉄
イラストマップ=トシ・アトリエ 瀬川俊朗
※断続転写禁止。

